



とよかわの



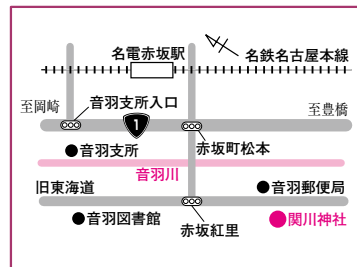
豊川市の観光資源を紹介します。

問合せ先 ● 市観光協会 89-2206

みつけた!



歴史を見守ってきた関川神社のクスノキ



御油のマツ並木を通して赤坂町に向かうと、旧東海道の宿場町として栄えた赤坂宿の東の玄関口にあたる関川神社があります。関川神社は、長保3（1001）年に三河国司の大江定基の命により、関川地内のクスノキのそばに市杵島媛命を祭ったのが始まりとされています。当初は弁財天と称していましたが、明治時代の神仏分離の影響を受けて、関川神社に名前を改めました。その関川神社には、樹齢が推定800年とされるクスノキがあるのをご存知でしょうか。

本殿を覆うように立つクスノキは、幹の周りが約8m、高さが25mほどもある大きなもので、市の天然記念物にも指定されています。このクスノキの根元は大きくえぐられており、これは慶長14（1609）年に赤坂宿で起きた火事の飛び火で焼けたものだそうです。

また境内には、松尾芭蕉の俳句「夏の月 御油より出でて 赤坂や」を刻んだ句碑も建っています。

夏の暑さの中、生い茂ったクスノキは大きな木陰をつくります。歴史をなぞって一度訪れてみてはいかがでしょうか。

